

1 題材の目標及び題材構想

「幼児のおやつを作ろう」～栄養満点，愛情たっぷり手作りおやつ～（7時間完了）

(1) 題材の目標

- ① 幼児のおやつに関心をもって取り組むことができる。  
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 幼児のおやつの献立について，目的に合わせて工夫している。  
(生活を工夫し創造する能力)
- ③ 幼児のおやつについて理解し，幼児の発達を支える家族の役割について理解している。  
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準に盛り込むべき事項

生活や技術への関心・意欲・態度…【関】	幼児のおやつ作りに関心をもって取り組もうとしている。
生活を工夫し創造する能力…【工】	幼児のおやつの献立について，幼児の身体的特徴・栄養・目的に合わせて考え工夫している。
生活や技術についての知識・理解…【知】	幼児のおやつの役割や幼児の発達を支える家族の役割について理解している。

(3) 題材構想

各過程のねらい	時数	学習活動	教師の支援・留意点☆評価規準
○幼児のおやつについて関心をもつことができる。  ○幼児の身体的特徴を踏まえて，幼児のおやつについて考えることができる。	1	1 中学生と幼児の食べているおやつを比較し，違いを考える。  2 幼児のおやつに適しているものを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違いに気付かない生徒には，大きさや量などに着目させ，中学生と幼児では，おやつの目的が異なることに気付かせる。</li> <li>・幼児の身体的特徴を踏まえた上で，中学生と幼児を比較し考えさせる。</li> </ul> <p>☆幼児のおやつに関心をもち，中学生と幼児のおやつの違いを考えている。 (ワークシート①)【関】</p> <p>☆幼児の身体的特徴を踏まえた上で，幼児に適したおやつを考えようとしている。 (ワークシート①)【関】</p>
○幼児のおやつに適した献立を考えることができる。	1	3 幼児のおやつに適した献立を考える。  [グループ活動] <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の考えた献立の工夫点について発表し合い，献立の問題点や改善方法を検討する。</li> <li>・話し合いをもとに，栄養士への質問を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立は，あらかじめ考えてくるように指示をしておく。</li> </ul> <p>☆幼児の身体的特徴や栄養・目的を踏まえて献立を工夫している。 (ワークシート②)【工】</p> <p>☆幼児のおやつの献立をよりよいものにして，積極的に活動している。 (活動の様子)【関】</p>

<p>○幼児のおやつ の役割について理解 することができる。</p> <p>○話し合い活動を通 してさまざまな視 点から、献立を見 直すことができ る。</p>	2	<p>4 栄養士の話聞き、幼児のお やつ の役割について考える。 (※1)</p> <p>5 栄養士の話踏まえて、献立 の問題点・改善方法を考える。</p> <p>[グループ活動] ・栄養士の話踏まえて、より よい献立になるように改善方 法を話し合う。</p>	<p>・事前に栄養士と打ち合わせをし、幼児 のおやつ の栄養摂取量の目安、手作 りのよさや適した食材(資料①)など話 をしてほしいことや生徒からの質問を 伝えておく。</p> <p>・教師と栄養士がグループを回り、アド バイスをする。</p> <p>☆幼児のおやつ の役割について理解して いる。よりよい献立にするために、改 善方法を工夫している。 (ワークシート③)【知】【工】</p>
<p>○幼児のおやつに 適した献立を作成 することができる。</p>	1	<p>6 献立を作成する。</p> <p>7 完成した献立を発表し合う。</p> <p>[グループ活動] ・最初に考えた献立と完成した 献立を比較し、変化に着目し ながら、それぞれの献立のよ いところを話し合う。 ・実習の計画を立てる。</p>	<p>・最初に考えた献立からの変化に着目さ せて話し合わせることで、食材や調理 方法の工夫ができる手作りのおやつ のよさに気付かせる。</p> <p>☆幼児のおやつ の役割を理解し、目的に 合わせて献立を工夫している。 (ワークシート④)【工】【知】</p> <p>・生徒が考えた献立の中から、グルー プ で一つ選び、実習の計画を立てさせ る。 ・全員が試食できる分量を考えさせる。</p>
<p>○手作りの良さを感 じながら、安全と 衛生に留意して幼 児のおやつを作る ことができる。</p> <p>○幼児のおやつ作 りの授業を振り返 り、家族の役割に ついて考えること ができる。</p>	2	<p>8 グループで調理実習を行う。</p> <p>9 完成したものを試食し、感想 をワークシートに記入する。</p> <p>10 授業を振り返り、家族として の役割を考える。</p>	<p>・各グループのおやつを試食し、幼児 のおやつ としての要素を満たしている か、味や食感などの視点を与えて感想 を記述させる。</p> <p>☆安全と衛生に留意し、協力をして実 習 に取り組んでいる。 (活動の様子・ワークシート⑤)【関】</p> <p>☆幼児のおやつ の役割や幼児の発達を支 える家族の役割について理解し、家 庭 生活をよりよくしようと積極的に考 え、実践しようとしている。 (ワークシート⑥)【知】</p>

※1 本実践は栄養士にゲストティーチャーをお願いしているが、幼児に必要な栄養について養護教諭に話してもらったり、手作りのおやつの体験談を保護者に話してもらったりするなど、各場面でさまざまなゲストティーチャーに入ってもらうことが可能である。